



小浜水産高等学校

海と地域とともに歩んだ119年
学び舎で過ごしたかけがえのない日々

- 右) 閉校式で最後の校歌を歌う卒業生たち
- 上) 生徒代表4人が壇上のポールから校旗を外してたたみ、県教育委員会へ返納した
- 下) 生徒たちを激励する春日仲友校長



小浜水産高等学校の沿革	
明治 28 年 (1895 年)	福井県簡易農学校の分校として水産科を設置
明治 32 年 (1899 年)	独立して福井県水産学校となる
明治 34 年 (1901 年)	福井県立小浜水産学校に改称
大正 8 年 (1919 年)	創立 25 周年記念式挙行 実習船・初代雲龍丸進水
昭和 23 年 (1948 年)	小浜中学校および小浜高等女学校と合併して、福井県立小浜高等学校が設置。水産科となる
昭和 24 年 (1949 年)	福井県立小浜高等学校および福井県立遠敷高等学校が廃止。福井県若狭高等学校が設置され、水産科となる
昭和 28 年 (1953 年)	福井県若狭高等学校より分離独立して、福井県小浜水産高等学校となる
昭和 32 年 (1957 年)	福井県立小浜水産高等学校に改称
平成 9 年 (1997 年)	海洋科学科、食品工業科、水産経済科の3学科となる
平成 27 年 (2015 年)	閉校

3 月7日(土)、119年の歴史を持つ小浜水産高校の最後の卒業式と閉校式が行われ、卒業生77人と、関係者約250人が出席しました。卒業式では、春日仲友校長が、学科別の生徒代表5人に卒業証書を手渡し、「皆さんの行く手には、幾多の試練が待ち受けているかもしれないが、どんな荒波、嵐が来ようと、乗り越えていってください」と、激励しました。続いて行われた閉校式では、学校の歴史がスライドで上映され、参加者は思い出を振り返りました。最後に、生徒4人が学校の校旗をポールから外してたたみ、春日校長から県教育委員会の吉井正雄委員長に返納されました。

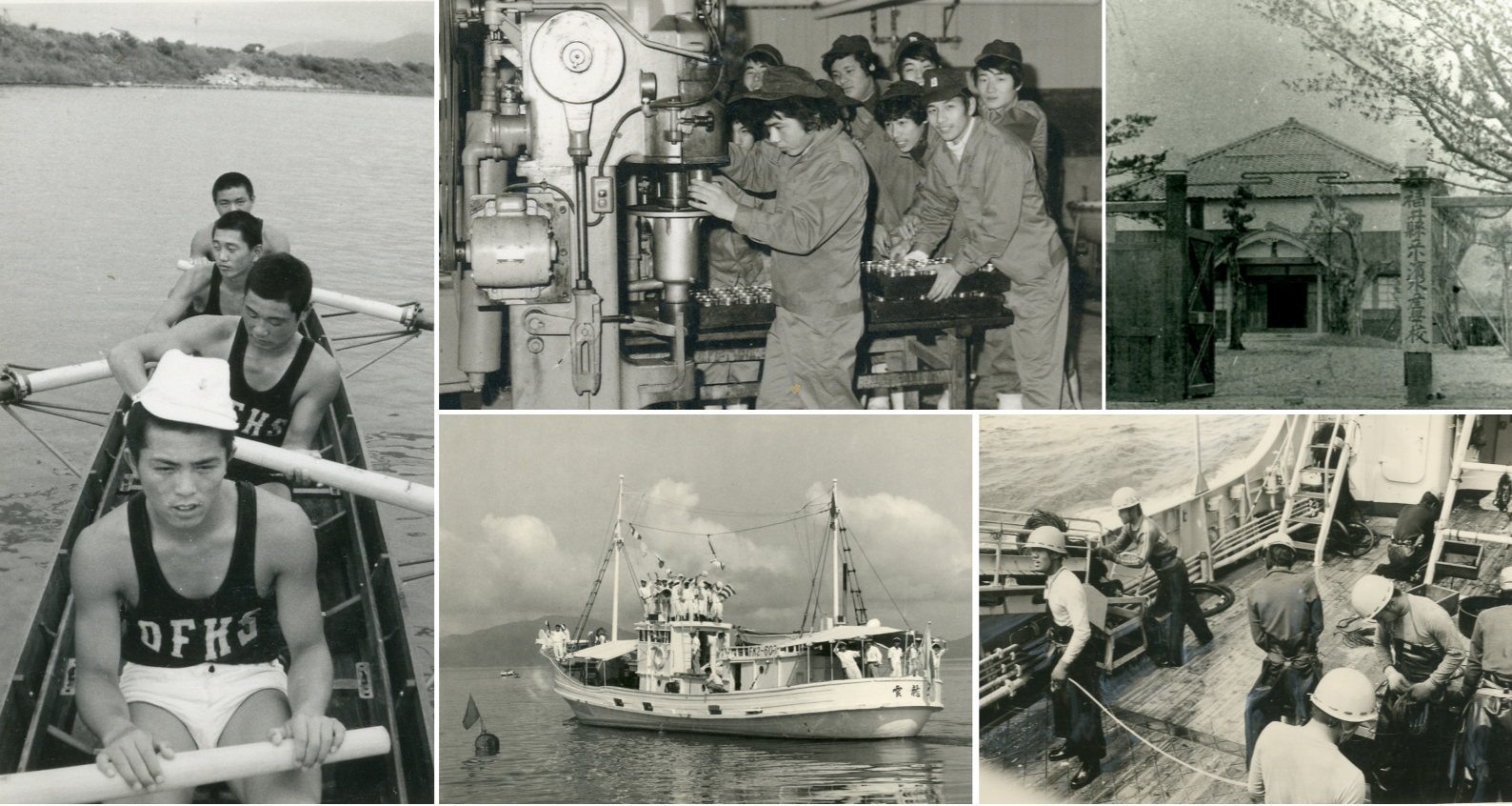
小浜水産高校は、明治28年に福井県簡易農学校の分校として誕生。日本における水産高校の先駆けとして119年の歴史をスタートしました。「質実剛健」を校訓に、船舶、養殖、食品加工などの分野で教育が行われ、多くの卒業生を輩出してきました。近年は、地域・大学・企業との連携に力を入れて、マサバやアラレガコの養殖、小浜湾の水質改善、アマモの定植、宇宙日本食の開発、サバ缶・新巻鮭の製造、LED漁灯の推進など数々の成果を挙げ、幾多の表彰に輝いてきました。地域に根差し、新たな地平を切り開く、その伝統と精神は、新しい教育の場に移っても継承されていきます。

全 国水産・海洋系高等学校の中で最も古い歴史を有し、常に水産・海洋教育をリードしてきた福井県立小浜水産高等学校（堀屋敷）。生徒数の減少を背景に、若狭地区3高校の再編計画が進められ、この春、119年の歴史に幕を下ろすことになりました。地域の中で、海を見つめ、人とともに歩んで来た歴史。若狭高等学校への統合とともに、新たな一歩を踏み出しますが、その、伝統と精神は、次世代を担う子どもたちに、これからも、ずっと受け継がれていきます。

あの日、
君たちは海を見ていた

閉校

特集 | さよなら小浜水産高校



平成27年3月7日
閉校式生徒代表挨拶より（一部抜粋）

どうか覚えておいてほしいのです。誇りと活気にあふれたこの浜水が、確かに119年間存続してきたことを。

まるで雲城水が百年かけて濾過を繰り返して、栄養を取り込んで流れ出すように、浜水の歴史もまた、119年間の濾過を経て、発展し、今、ここで終わるかのように見えます。

しかし、それは違います。福井、日本の水産業への多大な貢献を果たした浜水。本校で学んだ数々の卒業生が、世界中で活躍しています。昔も今も。そしてこれからも。

浜水が無くなった後も、浜水生は、浜水の誇りを胸に歩み続けます。浜水の精神は永遠に消えない。



麗水同窓会会長
山口 貞夫 さん（80歳・神田）
昭和28年卒。平成18年8月に小浜水産高校の卒業生約8900人で作る麗水同窓会の第6代会長に就任。

伝統を次世代に継承

麗水同窓会では、これまで校内施設や記念碑を寄贈したり、水産校生の地域活動にいっしょに参加したりするほか、韓国麗水市への短期研修派遣を実施するなど、未来を担う子どもたちの支援を行ってきました。

水産校生には、派手さはないが、物事に誠実に取り組む気風が代々受け継がれ、地域産業に貢献できる人材も多く輩出されてきました。近年の、地域や企業、大学と連携した「産官学」の取り組みが小浜の中で果たして来た役割は大きく、とても誇らしく感じています。

小浜水産高校が統合されることについては、時流でもあり、これからは若狭高校海洋科学科の充実により、これまでの伝統を引き継ぎ、新しい教育の中で生かしてほしいですね。



生徒会長
高橋 未来大 さん（18歳・越前市）
食品工業科3年生。平成26年4月から生徒会長として、各種行事を企画、けん引してきた。

小浜水産高校出身と胸を張りたい

この一年間は授業や就職活動、生徒会活動に慌ただしく過ぎてきました。1月30日に、ワックスがけをして、ガラんとした教室を見たとき、「ああ、終わるんだな…」と、思いました。振り返ると、怖くとも優しく先生、友達に囲まれて過ごした寮生活、すべてが良い思い出です。僕たちの代は1学年70人ちょっとでしたが、最後まで明るく元気な学園生活でした。

思い出の場所がなくなるのは正直寂しいですが、これからも小浜水産高校出身だと胸を張っていきたいです。水産高校の歴史は119年で終わりを迎えますが、若狭高校海洋科学科の後輩たちには、新しい一歩を踏み出してもらい、120年以上の歴史を刻んでほしいです。



校長
春日 伸友 さん（59歳・青井）
小浜水産高校には教員5年間、教頭3年間を経て、平成24年4月に第23代校長に就任。

誇りを持って歩いてほしい

小浜水産高校は「質実剛健」の校訓のもと、実践を通して社会で役立つ生徒を育てようと、職場体験や航海実習、インターンシップなどの現場実習を中心に教育に取り組んできました。また、地域の皆さんといっしょに活動するなかで、生徒たちも大きく成長させていただきました。本当に地域に支えられたと感謝しています。

生徒たちは、最後の卒業生として、この一年間、閉校プロジェクトを立派にやりきってくれました。そのことに誇りを持って、これからの人生を歩いていってほしいと思います。一年間、生徒たちを支え、応援していただいた、保護者や同窓会、地域の皆さんには、心からお礼を申し上げます。

